

分野	専門分野Ⅱ —成人看護学—	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	成人看護実践論Ⅰ Adult Nursing PracticeⅠ 脳・神経障害をもつ人の看護 運動機能障害をもつ人の看護 感覚機能障害をもつ人の看護	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	成人看護実践論Ⅰではセルフケアするための行動的な機能とする脳・神経、運動器、感覚器機能障害をもつ人の看護について学ぶ。このような機能障害によっておこる対象の状態を把握するためのフィジカルアセスメントや成人期に多発する代表的な疾患を取り上げ、その疾患の特徴をふまえた看護の実際を学ぶ。看護の具体的な援助方法では、クモ膜下出血後の回復期にある人の事例をもとにセルフケア獲得のための看護過程演習で展開する。様々な健康問題を抱える対象を理解し、常に対象を尊重し個別性に合わせた看護を考える。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳・神経の障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>2. 運動機能の障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>3. 感覚器機能の障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>4. クモ膜下出血患者の維持・回復期の事例を通してセルフケア獲得のための看護支援方法を理解する。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 100点 脳・神経障害をもつ人の看護 1～7回 50点 運動機能障害をもつ人の看護 8～12回 35点 感覚機能障害をもつ人の看護 13～14回 15点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 脳神経 成人看護学【7】医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 運動器 成人看護学【10】医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 眼 成人看護学【13】医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 耳鼻咽喉 成人看護学【14】医学書院		
参考図書			
メッセージ	脳血管性障害や運動機能障害、感覚器の障害は、日常生活動作の遂行に直接的にかつ大きく影響します。成人期にありながら、脳血管性障害や運動機能・感覚器に障害をもつ人の看護実践に必要な知識について学んでいきましょう。 テキストに目を通し、病態生理を復習して授業に臨んでください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	脳神経疾患症状、障害をもつ人の看護	脳神経機能障害で代表的な症状をもつ人の看護を学ぶ	脳・神経疾患で最も代表的な症状をもつ人の看護 頭痛、吐気、意識障害、失認・失行 せん延性意識障害の看護 注意・記憶障害に応じた生活指導 空間失認の生活訓練・環境調節 失語・構音障害の生活訓練	講義	
2	脳神経疾患における代表的な検査を受ける人の看護	脳・神経機能障害により代表的な検査を受ける人の看護を学ぶ	脳・神経機能障害により代表的な検査を受ける人の看護 神経学的検査、脳波検査 髄液検査時の援助 脳血管造影時の検査	講義	

3	脳神経疾患における代表的な治療を受ける人の看護	脳神経機能障害による代表的な治療を受ける人の看護を学ぶ	脳・神経機能障害による代表的な治療を受ける人の看護 外科的療法（血腫、腫瘍、動脈瘤摘出術の看護） 内科的療法（薬物療法脳梗塞：抗浸透圧剤 悪性腫瘍：化学療法、低体温療法）	講義	
4	脳神経疾患をもつ人の経過別看護（急性期の看護）	クモ膜下出血による急性期にある人の経過別看護を学ぶ	経過別看護（急性期） 外科的・内科的治療に応じた援助 脳・神経機能障害をもつ人へ障害受容への援助・障害受容プロセスに応じた援助	講義	
5	脳神経疾患をもつ人の経過別看護（維持・回復期の看護）	クモ膜下出血による維持・回復期にある人の経過別看護を学ぶ	経過別看護（維持・回復期） 片麻痺における日常生活動作の訓練と介助方法 咀嚼嚥下障害のおもな看護 脳・神経機能障害による排泄障害 脳・神経機能障害をもつ人への退院指導 障害の改善と克服への援助・社会参加への援助	講義	
6	看護過程展開	クモ膜下出血をもつ人の事例を通して維持・回復期の看護を学ぶ	クモ膜下出血患者の維持・回復期の看護過程 ・事例について情報整理とアセスメントしていく	GW	
7	看護過程展開	クモ膜下出血をもつ人の事例を通して維持・回復期の看護を学ぶ	維持・回復期の看護過程 ・セルフケア獲得のための看護について考える	GW	
8	運動機能障害による主な症状をもつ人の看護	運動機能障害による主な症状をもつ人の看護を学ぶ	運動機能障害による主な症状をもつ人の看護 神経麻痺・循環障害・疼痛の緩和 出血・腫脹・深部静脈血栓症 変形性関節症	講義	
9	運動機能障害による主な検査及び治療を受ける人の看護	運動機能障害により代表的な検査と治療を受ける人の看護を学ぶ	運動機能障害により代表的な検査と治療を受ける人への看護 膝関節症検査、膝関節液検査 関節可動域障害・筋力低下の原因と程度 ミエログラフィー時の援助 手術療法（観血的整復固定術、四肢切断術、脱臼整復術、人工関節置換術） 保存療法（ギプス固定、副子固定、牽引、補装具固定） 薬物療法	講義	
10	骨折した人の看護	骨折した人の看護を学ぶ	骨折した人の看護、 脱臼整復術・牽引・補装具固定 ギプス固定時の看護と合併症 脊柱手術後の生活指導 四肢切断術の看護	講義	
11	脊髄を損傷した人の看護	脊髄損傷により運動機能障害をもつ人の看護を学ぶ	脊髄損傷により運動機能障害をもつ人の看護 脊髄損傷レベルに対応した日常生活動作の訓練 脊椎損傷による排泄障害・性生活指導 間歇的自己導尿法	講義	
12	関節リウマチをもつ人の看護	リウマチ疾患をもつ人の看護を学ぶ	リウマチ疾患をもつ人の看護 膝関節症検査、膝関節液検査 関節可動域障害・筋力低下の原因と程度	講義	

成人看護学

13	視機能に障害をもつ人の看護	視機能障害をもつ人の看護を学ぶ	<p>1.視機能障害をもつ人の看護</p> <p>2.視覚障害の主な検査・治療を受ける人の看護</p> <p>緑内障・網膜剥離</p> <p>眼圧亢進・眼痛・視野狭窄・欠損・視力障害・失明</p> <p>眼圧検査・視野検査・視力検査</p> <p>隅角開放術・薬物療法（点眼薬）</p>	講義	
14	聴覚機能障害をもつ人の看護	聴覚機能障害をもつ人の看護を学ぶ	<p>1.聴覚機能障害をもつ人の看護</p> <p>2.聴覚機能障害により検査・治療を受ける人の看護</p> <p>喉頭がん摘出術後の看護 術後の生活指導</p>	講義	
15			終講試験		

分野	専門分野Ⅱ —成人看護学—	対象学年	2									
		時期	前期～後期									
授業科目	成人看護実践論Ⅱ Adult Nursing PracticeⅡ 消化機能障害をもつ人の看護 肝・胆・膵機能障害をもつ人の看護	単位	1									
		時間	30									
		方法	講義									
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認											
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認											
授業概要	<p>成人看護実践論Ⅱでは生命維持のため外界から物質をやりとりする機能とする消化器、肝・胆・膵機能障害をもつ人の看護を学ぶ。機能障害によっておこる対象の状態を把握するためのフィジカルアセスメントや成人期に多発する代表的な疾患を取り上げ、その疾患の特徴をふまえた看護の実際を学ぶ。</p> <p>看護の具体的な援助方法では、胃癌にて胃切除術を受ける人の看護と術後の消化吸収障害と日常生活への影響を考え、危機状況にある人の看護について学ぶ。様々な健康問題を抱える対象を理解し、常に対象を尊重し個別性に合わせた看護を考える。</p>											
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化吸収機能の障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>2. 栄養代謝機能（肝・胆・膵）の障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>3. 胃切除術を受ける健康の危機的状況にある人の看護支援方法を理解する。</li> </ol>											
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">消化吸収機能障害をもつ人の看護 1～6回 40点</td> <td rowspan="4" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">終講試験 95点</td> </tr> <tr> <td>消化吸収機能障害をもつ人の看護 7～8回 18点</td> </tr> <tr> <td>集中治療を受ける人の看護 10回 7点</td> </tr> <tr> <td>肝・胆・膵機能障害をもつ人の看護 11～14回 30点</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ストーマケアの演習事前課題 9回 5点</td> </tr> </table>			消化吸収機能障害をもつ人の看護 1～6回 40点	}	終講試験 95点	消化吸収機能障害をもつ人の看護 7～8回 18点	集中治療を受ける人の看護 10回 7点	肝・胆・膵機能障害をもつ人の看護 11～14回 30点	ストーマケアの演習事前課題 9回 5点		
消化吸収機能障害をもつ人の看護 1～6回 40点	}	終講試験 95点										
消化吸収機能障害をもつ人の看護 7～8回 18点												
集中治療を受ける人の看護 10回 7点												
肝・胆・膵機能障害をもつ人の看護 11～14回 30点												
ストーマケアの演習事前課題 9回 5点												
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 消化器 成人看護学【5】医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学【6】医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論											
参考図書												
メッセージ	病態生理学Ⅳ（消化器）で学習した知識と結び付け、看護を学んでいきます。 また成人期にある人の危機的状況を知り、生命の危機を守るための観察の視点や看護を学びます。 事前学習をして、授業に臨みましょう。											

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	消化器疾患に特有の症状と看護	消化・吸収機能障害による主な症状をもつ人の看護を学ぶ	消化・吸収機能障害による主な症状をもつ人の看護 吐きけ・嘔吐・腹痛、吐血・下血、下痢、便秘・腹部膨満	講義	
2	消化器疾患の代表的な検査と看護	消化・吸収機能障害により代表的な検査を受ける人の看護を理解する	消化・吸収機能障害により代表的な検査を受ける人の看護 超音波検査・消化管内視鏡時の看護 直腸診時の援助・消化管造影検査時の看護	講義	
3	消化器疾患の代表的な治療と看護	消化・吸収機能障害により代表的な治療を受ける人の看護を理解する	消化・吸収機能障害により代表的な治療を受ける人の看護 薬物療法(胃粘膜保護剤)(化学療法) 食事療法(経管・経腸栄養法の管理と指導) 腹腔鏡下手術での看護 食道再建術の合併症予防と生活指導	講義	

成人看護学

4	胃がんで手術療法を受ける人の看護	胃がんで手術療法を受ける人の看護を学ぶ	胃がんで手術療法を受ける人の看護 症状・検査・治療の確認、看護 消化吸収障害と日常生活 胃十二指腸潰瘍患者の生活指導	講義	
5	胃がんで手術療法を受ける人の看護	胃がんで手術療法を受ける人の看護を学ぶ	胃がんで手術療法を受ける人の看護 周手術期看護 危機的状況にある人の看護 (フィンの受容過程)	講義	
6	胃がんで手術療法を受ける人の看護	胃がんで手術療法を受ける人の看護を学ぶ	胃切除後の合併症予防と生活指導 ダンピング症候群、バルンの予防と生活指導	講義	
7	大腸癌のある人の看護	大腸癌で検査・治療を受ける患者への看護	大腸癌の原因・症状・検査・治療の確認と看護	講義	
8	大腸癌によりストーマ造設術を受ける人の看護	大腸癌によりストーマ造設術を受ける人の看護を学ぶ	大腸癌によりストーマ造設術を受ける人の看護 腸切除後の合併症予防と生活指導 (ストーマ再建術・マイルズ含む)	講義	
9	ストーマケアの実際	ストーマケアの技術を学ぶ	ストーマサイトマーキングとは ストーマケアの演習 セルフケア再獲得を支援する看護 セルフケア指導、日常生活指導、外来でのフォローアップ 社会保障・家族、患者会への支援	演習	外部講師
10	集中治療を受ける人の看護	集中治療・看護の概念と役割を学ぶ	集中治療環境 生命が危機的状況にある人の特徴 集中治療における看護の役割 集中治療における看護の実際	講義	集中ケア認定看護師
11	肝臓疾患に特有の症状と看護	肝臓が障害されて起こる症状とその看護を学ぶ	肝臓の機能 各症状の関連(腹部膨満、黄疸、肝性脳症) 血液データの基準値 黄疸の分類、肝性昏睡 肝臓が障害されて起こる症状とその看護 具体的な援助計画	講義	
12	肝硬変症がある人の看護	肝硬変症で検査・治療を受ける患者の看護を理解する	肝硬変症の原因の確認 ICG 排泄検査 肝生検を受ける人の看護 腹腔鏡検査を受ける人の看護 血液データの基準値 (AST・ALT・肝炎ウイルス・血小板・TP・ALB・PT 時間・コリンエステラーゼ) 薬物療法・食事療法・安静療法における看護 生活指導 食道静脈瘤の予防 肝性脳症の予防 出血傾向がある人の看護	講義	

成人看護学

13	肝がんで手術を受ける人の看護	<p>1.肝癌の治療を受ける人の看護を理解する</p> <p>1)PTBDを受けている人の看護</p> <p>2)肝切除術を受ける人の看護</p>	<p>肝細胞がんの発生の確認</p> <p>PTBD を受ける人の看護</p> <p>経皮的局所療法（RFA、PEIT、PMCT）を受ける人の看護</p> <p>肝動脈化学塞栓療法を受ける人の看護</p> <p>ERCP を受ける人の看護</p> <p>肝切除術を受ける人の看護</p> <p>・手術前・手術後の看護</p> <p>胆嚢疾患を持つ人の看護</p>	講義	
14	膵炎のある人の看護	膵炎の患者の看護を理解する	<p>原因</p> <p>症状（疼痛・カレン徴候・グレイ - ターナー徴候・随伴症状）</p> <p>治療（蛋白分解酵素阻害・大量輸液・輸液管理）</p> <p>血液データ（血清アミラーゼ・尿中アミラーゼ・リパーゼ）</p> <p>急性膵炎の看護・慢性膵炎の看護</p> <p>生活指導</p>	講義	
15			終講試験		

分野	専門分野 - 成人看護学 -	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	成人看護実践論 Adult Nursing Practice 呼吸機能障害をもつ人の看護 循環機能障害をもつ人の看護	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>成人看護実践論 では生命維持のため外界から物質をやりとりする機能とする呼吸器・循環器機能の障害をもつ人の看護について学ぶ。このような機能障害によっておこる対象の状態を把握するためのフィジカルアセスメントや成人期に多発する代表的な疾患を取り上げ、その疾患の特徴をふまえた看護の実際を学ぶ。</p> <p>看護の具体的な援助方法では、肺がんで成人期にある人の事例を通して、全人的苦痛の意味を学び終末期における看護過程演習で展開する。様々な健康問題を抱える対象を理解し、常に対象を尊重し個別性に合わせた看護を考える。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 呼吸機能に障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>2. 循環機能に障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>3. 肺癌の終末期の対象の事例を通して、全人的苦痛のある人の看護支援方法を理解する</li> </ol>		
評価方法	<p>終講試験 100点</p> <p>呼吸機能障害をもつ人の看護 1～8回 54点 9回 6点</p> <p>循環機能障害をもつ人の看護 10～14回 40点</p>		
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門 呼吸器【2】成人看護学 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門 循環器【3】成人看護学 医学書院</p>		
参考図書			
メッセージ	<p>病態生理学各論 を想起しながら、呼吸器疾患をもつ人の安楽へとつながる看護について理解していきましょう。循環器疾患をもつ人の特徴と看護について学びます。疾患について事前学習をして授業に臨みましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	呼吸器疾患の動向と看護の全体像	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.呼吸器疾患の動向を理解する</li> <li>2.呼吸器機能の障害のある人の看護の全体像を理解する</li> </ol>	呼吸器疾患の動向、呼吸器の障害のある人の看護の全体像(呼吸機能の障害のしくみ、検査、治療・処置、身体・こころ・社会的側面・スピリチュアル的側面への影響、予防、急性期の看護、回復期・慢性期の看護、終末期の看護)	講義	

2	呼吸器疾患の 主な症状に対する 看護	主な症状に対する看護を理解 する	<p>1. 咳嗽、喀痰のある患者の看護： 咳嗽・喀痰の機序、咳嗽・喀痰への援助 (咳嗽誘発の抑制、咳嗽によるエネルギー消費の抑制、気道浄化・気道クリアランス)</p> <p>2. 血痰、喀血のある患者の看護 血痰・喀血の機序、定義、血痰・喀血時の援助、再出血の予防</p> <p>3. 胸痛のある患者の看護 胸痛の機序、援助</p> <p>4. 呼吸困難感のある患者の看護 呼吸困難の機序、呼吸困難の客観的評価、援助 (気道の確保、気道浄化・気道クリアランス、酸素吸入、酸素化のモニタリング、呼吸法、安楽な体位)</p> <p>5. 共通する援助とスタンダードプリコーション 精神的援助、セルフケア指導(生活指導)</p>	講義 GW	
3		<p>1. 代表的な検査を受ける患者の看護を理解する</p> <p>2. 吸入療法を受ける患者の看護を理解する</p>	<p>1. 代表的な検査と看護 内視鏡検査(気管支鏡検査、気管支鏡肺生検、気管支鏡肺胞洗浄、超音波気管支鏡ガイド下針生検、縦隔鏡検査)、呼吸機能検査、ガス交換機能検査</p> <p>2. 吸入療法を受ける患者の看護 噴霧吸入、酸素吸入、在宅酸素療法</p>	講義 GW	
4	呼吸器疾患の 代表的な検査と 治療の看護 1. 人工呼吸器 を装着・胸腔ド レナージを受け る患者の看護 2. 手術療法を 受ける患者の看 護	<p>1. 人工呼吸器を装着する人の看護を理解する</p> <p>2. 胸腔ドレナージを受ける患者の看護を理解する</p> <p>3. 手術療法を受ける患者の看護を理解する</p>	<p>1. 人工呼吸器を装着する人の看護 人工呼吸器の適応、人工呼吸器の基本構造、陽圧換気による影響、陽圧換気の様式、人工呼吸器の管理、気管挿管、気管切開、非侵襲的陽圧換気法、人工呼吸器装着時の看護目標、人工呼吸器装着時の予防的援助(人工呼吸器関連肺炎、無気肺、感染、スキントラブル、廃用症候群、深部静脈血栓)</p> <p>2. 胸腔ドレナージを受ける患者の看護 胸腔ドレナージのしくみとドレナージ中の管理</p> <p>3. 手術を受ける患者の看護 手術前・中・後の看護目標とアセスメントおよび看護活動</p>	講義 GW	



## 成人看護学

5	呼吸器疾患を持つ人の看護 1.慢性閉塞性肺疾患・呼吸器感染症の患者の看護	1.慢性閉塞性肺疾患の患者の看護を理解する 2.呼吸器感染症の患者の看護を理解する	慢性閉塞性肺疾患および肺炎に罹患した患者の事例をもとにアセスメントと援助を学ぶ。	講義 GW	
6	2.肺血栓塞栓症・急性呼吸窮迫症候群・睡眠時無呼吸症候群の患者の看護	1.肺血栓塞栓症の患者の看護を理解する 2.急性呼吸窮迫症候群の患者の看護を理解する 3.睡眠時無呼吸症候群の患者の看護を理解する	1.肺血栓塞栓症の患者の看護 原因と予防、診断治療と援助 2.急性呼吸窮迫症候群の患者の看護 原因、診断治療と援助 3.睡眠時無呼吸症候群の患者の看護 原因と予防、診断治療と援助、 エプワス睡眠スケール	講義 GW	
7	3.気胸の患者の看護	気胸の患者の看護を理解する	原因、治療と援助、胸腔鏡下にて肺部分切除術を受ける患者の看護	講義 GW	
8	4.肺がんの患者の看護	肺がんの患者の看護を理解する	化学療法・放射線療法、手術療法を受ける患者の看護	講義 GW	
9	終末期にある人の看護	肺がんを持つ人の事例を通じ終末期にある人の看護を理解する	トータルディスニアの視点からの理解、主な援助 WHO方式3段階除痛ラダー	講義 GW	外部講師
10	循環器疾患の代表的な検査と主な症状に対する看護	1.主な症状に対する看護を理解する 2.代表的な検査を受ける患者の看護を理解する	1.胸痛に対する看護 2.動悸に対する看護 3.浮腫に対する看護 4.呼吸困難に対する看護 5.チアノーゼに対する看護 6.失神に対する看護 7.心電図検査を受ける患者の看護 8.運動負荷試験を受ける患者の看護	講義	
11	循環器疾患をもつ人の看護	不整脈の患者の看護を理解する	1.不整脈患者の看護 2.薬物療法の看護 3.ペースメーカーを装着した患者の看護 挿入後の生活指導	講義 GW	
12		虚血性心疾患の患者の看護を理解する	1.心臓カテーテル法を受ける患者の看護 2.血行動態モニタリングを受ける患者の看護 3.虚血性心疾患の患者の看護 労作性狭心症、冠攣縮性狭心症患者の看護 急性冠症候群患者の看護 4.カテーテル治療を受ける患者の看護 冠動脈インターベンションの看護 5.冠動脈バイパス術を受ける患者の看護 6.心臓リハビリテーションと看護	講義	
13		心不全の患者の看護を理解する	1.心不全患者の看護 心不全の病期に応じた援助 病態に合わせた生活を維持するための看護	講義 GW	
14		1.大動脈疾患の患者の看護を理解する 2.手術療法を受ける患者の看護を理解する	1.動脈系疾患患者の看護 2.大血管再建術を受ける患者の看護 3.弁置換術、弁形成術を受ける患者の看護 4.手術を受ける患者の看護	講義	
15			終講試験		

分野	専門分野 - 成人看護学 -	対象学年	2			
		時期	後期			
授業科目	成人看護実践論 Adult Nursing Practice 内分泌疾患をもつ人の看護 膠原病をもつ人の看護 乳癌をもつ人の看護 糖尿病をもつ人の看護 代謝・生殖機能障害をもつ人の看護	単位	1			
		時間	30			
		方法	講義			
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認					
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認					
授業概要	成人看護実践論 では生命の根源の部分に関わる機能とする内分泌・生殖器機能障害をもつ人の看護を学ぶ。機能障害によっておこる対象の状態を把握するためのフィジカルアセスメントや成人期に多発する代表的な疾患を取り上げ、その疾患の特徴をふまえた看護の実践を学ぶ。 看護の具体的な援助方法では、糖尿病患者の慢性期の事例を通してセルフマネジメントを促すための看護支援方法を看護過程演習で展開する。様々な健康問題を抱える対象を理解し、常に対象を尊重し個別性に合わせた看護を考える。					
目標	1. 内分泌機能の障害をもつ人の看護を理解する。 2. 生殖器機能の障害をもつ人の看護を理解する。 3. 糖尿病をもつ人の慢性期の事例を通してセルフマネジメントを促すための看護支援方法を理解する。					
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;">           内分泌疾患をもつ人の看護 1～3回 } 30点            膠原病をもつ人の看護 4回 }            乳がんをもつ人の看護 5、6回 15点            糖尿病をもつ人の看護 7～12回 30点            代謝・生殖機能障害をもつ人の看護 13、14回 15点            糖尿病をもつ人の慢性期の看護過程演習 10点         </td> <td style="width: 5%; border: none; text-align: center;">}</td> <td style="width: 35%; border: none; vertical-align: middle;">終講試験 90点</td> </tr> </table>			内分泌疾患をもつ人の看護 1～3回 } 30点 膠原病をもつ人の看護 4回 } 乳がんをもつ人の看護 5、6回 15点 糖尿病をもつ人の看護 7～12回 30点 代謝・生殖機能障害をもつ人の看護 13、14回 15点 糖尿病をもつ人の慢性期の看護過程演習 10点	}	終講試験 90点
内分泌疾患をもつ人の看護 1～3回 } 30点 膠原病をもつ人の看護 4回 } 乳がんをもつ人の看護 5、6回 15点 糖尿病をもつ人の看護 7～12回 30点 代謝・生殖機能障害をもつ人の看護 13、14回 15点 糖尿病をもつ人の慢性期の看護過程演習 10点	}	終講試験 90点				
使用テキスト	系統看護学講座 専門 内分泌・代謝【6】 成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 腎・泌尿器【8】 成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 女性生殖器【9】 成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 アレルギー 膠原病 感染症【11】 成人看護学 医学書院					
参考図書						
メッセージ	病態生理の知識を踏まえて看護を学習します。予習・復習をしながら授業に臨むようにしましょう。看護過程の展開では糖尿病をもつ人の慢性期を事例に、慢性疾患の特徴を加味したアセスメントを学んでいきます。					

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	内分泌機能障害をもつ人の特徴	内分泌機能障害をもつ人の特徴と看護の視点を学ぶ	内分泌機能障害をもつ人の特徴 内分泌疾患をもつ人の身体的所見 (身体面の特徴、経過別看護) 内分泌疾患をもつ人の心理・社会的な特徴 慢性期の看護の特徴	講義	
2	内分泌機能障害における代表的な検査と看護	内分泌機能障害における代表的な検査を受ける人の看護を学ぶ	内分泌機能障害における代表的な検査を受ける人の看護 ホルモンの血中濃度測定・尿中測定、 負荷試験 免疫学的評価、画像検査(甲状腺シンチグラフィ)	講義	

3	内分泌系機能障害をもつ人の看護	内分泌系機能障害をもつ人の看護を学ぶ	内分泌系機能障害をもつ人の看護 下垂体疾患をもつ人の症状と看護 下垂体切除術後の生活指導 甲状腺疾患をもつ人の症状と看護 甲状腺切除術後の生活指導 甲状腺疾患の薬物療法、放射線療法、外科療法 副甲状腺疾患をもつ人の症状と看護 副腎疾患をもつ人の症状と看護 副腎摘出術後の生活指導	講義	
4	免疫機能障害をもつ人の看護	免疫機能障害をもつ人の看護を学ぶ	免疫機能障害をもつ人の看護 膠原病もつ人の看護 生体防御機能障害がもたらす生命・生活の影響 アレルギー性疾患をもつ人の看護 自己免疫疾患をもつ人の看護 SLEをもつ人の看護	講義	
5	乳房疾患をもつ人の看護	乳房疾患をもつ人の看護を学ぶ	乳房疾患をもつ人の看護 症状、検査、自己検診、 治療（化学療法、放射線療法、ホルモン療法） 乳腺疾患	講義	
6	乳がんをもつ人の看護	乳がんをもつ人の看護を学ぶ	乳がんをもつ人の看護 乳房切除術時の看護（精神的支援と生活指導） ホルモン療法時の生活指導	講義	
7	糖尿病をもつ人の看護	糖尿病の治療と糖尿病をもつ人の看護を学ぶ	糖尿病をもつ人の看護 糖尿病を患った人の特徴 糖尿病の治療法や意義・治療に対する患者の心理的变化・治療を受ける人への看護 看護の実際（身体的な特徴と看護ケア・食事療法・運動療法・薬物療法） 慢性疾患患者に対する災害看護（自身を守るための事前の備え・自己管理能力を高めることの重要性について）	講義	糖尿療養指導士
8	糖尿病の合併症と看護	糖尿病合併症をもつ人の看護を学ぶ	糖尿病の合併症とその看護と生活指導 インスリン自己注射の指導 足病変とフットケアの意義と方法 シックデイとは	講義	
9	糖尿病をもつ人の心理的社会的な特徴と看護	糖尿病をもつ人の心理的社会的な特徴と必要な看護について考える	教育的アプローチ 患者教育の実際 慢性期患者の心理的特徴と心理面への援助 慢性期患者の社会的特徴と社会面への援助 社会資源の種類と特徴	講義	
10	慢性期疾患の看護過程	慢性期疾患の看護過程について学ぶ	慢性期疾患の看護過程 情報のアセスメント 慢性期にある対象の理解 成人期にある人として、慢性疾患をもつ患者として、諸理論（健康信念モデル、行動変化のステージ、病みの軌跡）の活用	講義	
11	慢性期疾患の看護過程	慢性期疾患の看護過程について学ぶ	慢性期疾患の看護過程 統合アセスメント・看護の方向性	講義	

## 成人看護学

12	慢性期疾患の看護過程	慢性期疾患の看護過程について学ぶ	慢性期疾患の看護過程 計画立案	講義	
13	栄養代謝機能障害をもつ人の看護	痛風をもつ人の看護と脂質異常のある人の看護を学ぶ	痛風をもつ人の看護、脂質異常のある人の看護 高尿酸血症・脂質異常症の生活指導 血液検査データ	講義	
14	男性生殖器機能障害をもつ人の看護	男性生殖器機能障害をもつ人の看護を学ぶ	男性生殖器機能障害をもつ人の看護 精巣腫瘍の程度の把握 精巣腫瘍のある人の生活への影響 勃起障害のある人の看護 勃起障害に対する薬物療法時の看護 前立腺がんの外科的治療を受ける人の看護	講義	
15			終講試験		

分野	専門分野Ⅱ —成人看護学—	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	成人看護実践論Ⅴ Adult Nursing PracticeⅤ 血液・造血器疾患をもつ人の看護 腎・泌尿器疾患をもつ人の看護 周手術期演習	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>成人看護実践論Ⅴでは生命の根源の部分に関わる機能とする血液・造血器、免疫、腎・泌尿器機能の障害をもつ人の看護を学ぶ。機能障害によっておこる対象の状態を把握するためのフィジカルアセスメントや成人期に多発する代表的な疾患を取り上げ、その疾患の特徴をふまえた看護の実践を学ぶ。</p> <p>またこの科目では周手術期看護の知識・技術と倫理観を統合し、対象に応じた看護実践の基礎となる看護援助技術を演習する。周手術期看護では、安全・安楽な術後経過であるかを判断する能力、適切に判断する能力、適切に対処する能力が求められ、これらを通して術後患者の生活を援助する。演習を通して術前・術後の生活のイメージがつけられ、術後合併症の予防と回復の促進の援助を考えて行く力を養う。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血液疾患・造血、免疫にかかわる諸機能に障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>2. 腎・泌尿器機能に障害をもつ人の看護を理解する。</li> <li>3. 既習の知識・技術と倫理観を統合し、周手術期にある対象に応じた看護過程と看護実践の基礎となる看護技術を理解する。</li> </ol>		
評価方法	<p>終講試験70点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液・造血器疾患をもつ人の看護：20点</li> <li>・腎・泌尿器疾患をもつ人の看護：20点</li> <li>・周手術期看護過程：30点</li> <li>・演習における知識の評価 18点：6点×3 (自己血糖採血演習、フットケア演習、体位ドレナージ・スキージング演習における知識)</li> </ul> <p>課題レポート評価 12点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周手術期術後看護技術演習課題（態度評価減点法を含む）</li> </ul>		
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門Ⅱ 血液・造血器 成人看護学【4】 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学【6】 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学【8】 医学書院</p> <p>系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（医学書院）</p>		
参考図書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
メッセージ	<p>成人期にある人の血液・造血器疾患患者特有の視点と腎・泌尿器疾患をもつ人の看護について学びます。事前学習をして、授業に臨みましょう。</p> <p>講義で学んだことをもとに、周手術期の経過をのイメージをもち、看護過程を考え、手術後の援助技術を演習します。基礎看護学、診断治療に伴う援助技術Ⅱ（周手術期看護）の授業内容を事前に復習しておきましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	造血機能障害により代表的な検査および治療を受ける人の看護	造血機能障害により代表的な検査および治療を受ける人の看護を学ぶ	造血機能障害により代表的な検査および治療を受ける人の看護 骨髄穿刺時の看護 化学療法時の看護（白血球増加、出血傾向、血栓傾向、リンパ節腫大、脾腫） 造血機能障害により代表的な症状がある人の看護 貧血のある人の看護・出血傾向のある人の看護	講義	
2	白血病により造血機能障害をもつ人の看護	白血病により造血機能障害をもつ人の看護を学ぶ	白血病により造血機能障害をもつ人の看護 病期と看護のポイント 寛解導入期の看護・寛解期の看護・終末期の看護 インフォームドコンセントにおける看護 感染の予防と生活指導	講義	
3	造血幹細胞移植を受ける人の看護	造血幹細胞移植を受ける人の看護を学ぶ	造血幹細胞移植を受ける人の看護 造血幹細胞移植時の看護（移植の理解を促す援助、移植病室在室中の援助、移植片対宿主病の観察と援助、退院後の生活指導） 造血幹細胞移植時の倫理的配慮	講義	
4	腎機能障害における主な症状をもつ人の看護	腎機能低下によって生じる症状の機序と看護について理解する	腎機能障害における主な症状（高血圧・浮腫）をもつ人の看護	講義	
5	膀胱がんをもつ人の看護	膀胱がんの検査、治療について理解し、看護について学ぶ	膀胱がんの病態生理、症状、検査、治療とその看護 膀胱鏡検査、腎機能検査、画像検査（尿路造影）、腎生検 膀胱留置カテーテルの管理、尿路変更術の看護 ウロストミー・回腸導管造設後の看護 日常生活への影響と自立に向けた看護	講義	
6	腎不全と慢性腎臓病をもつ人の看護	慢性腎不全、慢性腎臓病をもつ対象の看護と透析療法における看護について学ぶ	慢性腎臓病と慢性腎不全の病態生理とその症状、検査、治療とその看護 透析療法（透析療法の目的、種類、看護） 腎移植の目的、種類、適応条件とその看護 慢性腎不全を抱える対象と災害看護	講義	
7	自己血糖採血の演習	自己血糖採血を実施する	自己血糖採血について学習・体験する	演習	
8	フットケア演習	フットケアを実施する	フットケアについて学習・体験する	演習	糖尿病療養指導士
9	手術に必要な情報を整理して、情報からアセスメントしてみよう	1.手術に必要な情報がわかる 2.情報からアセスメントを考えることができる	1.手術に必要な情報を呼吸、循環器、凝固系、腎機能、肝臓、栄養、膵臓、電解質、免疫の視点 2.必要な情報をもとにアセスメントする内容	講義 GW	

成人看護学

10	周手術期にある対象の経過を理解しよう	1.周手術期にある人の術前・術後の経過がイメージできる 2.周手術期にある人の看護の経過がわかる	1.予測される身体的状況と術後合併症 2.手術の経過に合わせた目標 3.周手術期の治療・検査・処置 4.安静度 5.日常生活	GW	
11	手術に向けた患者教育・指導	周手術期にある人の看護の経過がわかり説明できる	1.周手術期の経過を分かりやすく説明する ・看護師、患者、観察の役割を持ってロールプレイング	GW 発表	
12	周手術期術後の看護技術演習	周手術期に必要な看護技術を実施する	術後 1 日目の看護計画をもとに、早期回復にむけた援助技術を実施する。 術後 1 日目のバイタルサイン測定 ・創部の観察 ・疼痛管理 ・呼吸・循環状態の観察 ・ドレーン観察・管理 離床の進め方	演習	
13					
14					体位ドレナージ・スクイーピングを実施する
15			終講試験		

分野	専門分野 - 老年看護学 -	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	老年看護実践論 Gerontological Nursing Practice	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>高齢者はこれまでの人生においてそれぞれに生活をつくりあげてきた存在である。その生活様式や信条、価値観は個別性に富んでいる。高齢者の健康は、多様な生活と環境と密接な関係にある。そのため、老年看護学概論及び老年看護実践論 で学習した、加齢による変化や生活を支える社会保障・制度をふまえて、健康を保持することや、障害を最小限に食い止め、かつ共存していくために大切な日常生活の看護として、高齢者の生活背景や信条・習慣・価値観・生活リズムに配慮した援助方法について学ぶ。具体的には食事・運動・排泄・睡眠・休息・清潔・衣生活・環境・コミュニケーション・性について学習する。また些細なことで障害をもったり長期臥床状態になりやすいため、日常生活上の事故防止のための援助方法も学ぶ。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の日常生活を理解する。</li> <li>2. 高齢者の特徴をふまえたコミュニケーションの方法が理解できる。</li> <li>3. 加齢による諸機能に応じた日常生活の援助方法を理解する。</li> <li>4. 高齢者の健康に対する関心を高める。</li> </ol>		
評価方法	演習参加態度（10点） 終講試験（90点）		
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 メディカ出版		
参考図書			
メッセージ	老年看護学概論と老年看護実践論 の内容をふまえて、高齢者の生活を理解し、どのように看護するか、体を動かしながら学習していきます。在宅看護実践論 と同じ事例を用いて学習していきますので、事例の高齢者を一人の生活者として捉えて臨んでください。高齢者の特徴を捉えて生活できるように看護する視点を身につけていきましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	高齢者のコミュニケーションと看護	高齢者とのコミュニケーション技術について理解する	高齢者のコミュニケーションと看護ケア 視聴覚器の変化や言語障害のある高齢者とのコミュニケーション	講義	
2	高齢者の日常生活の変化と看護	高齢者の睡眠や覚醒、生活リズムの変化と看護について理解する	高齢者の日常生活と看護ケア 高齢者の睡眠や覚醒、生活リズムの変化と看護	講義	
3	高齢者疑似体験から考える生活の変化	加齢に伴う変化が生活に与える影響と危険性について理解する	高齢者の疑似体験 加齢に伴う変化が生活に与える影響と危険性を考える	演習	
4	高齢者疑似体験から考える4側面の影響	加齢に伴う変化を4側面から、高齢者が望む生活を考える	高齢者の疑似体験 加齢に伴う変化を4側面から想像し、高齢者が望む生活を考える	演習	
5	高齢者の活動と看護	高齢者の活動と看護ケアについて理解する	高齢者の活動と看護ケア 転倒予防と意義、要因、援助、骨折や廃用症候群の予防	講義	
6	高齢者の活動の援助	ICFの視点をもとに高齢者の活動とケアについて理解する	高齢者の活動と看護ケア 姿勢、日常生活活動評価、ICFの視点から考える活動ケア	演習	



老年看護学

7	高齢者の食事と看護	高齢者の食事と看護ケアについて理解する	高齢者の食事と看護ケア 摂食動作や嚥下のアセスメント、 低栄養状態・脱水・誤嚥を予防する看護	講義	
8	高齢者の食事の援助	ICF の視点をもとに高齢者の食事とケアについて理解する	高齢者の食事と看護ケア 嚥下機能の評価、嚥下訓練、 ICF の視点から考える食事ケア	演習	
9	高齢者の排泄と看護	高齢者の排泄と看護ケアについて理解する	高齢者の排泄と看護ケア 高齢者に多い排泄障害、 アセスメントと看護の視点	講義	
10	高齢者の排泄の援助	ICF の視点をもとに高齢者の排泄とケアについて理解する	高齢者の排泄と看護ケア 尿失禁に対する援助、排泄用具の選択、 ICF の視点から考える排泄ケア	演習	
11	高齢者の清潔と看護	高齢者の清潔と看護ケアについて理解する	高齢者の清潔と看護ケア 高齢者に多い皮膚の変調と障害、 清潔と整容の援助	講義	
12	高齢者の清潔の援助	ICF の視点をもとに高齢者の清潔とケアについて理解する	高齢者の清潔と看護ケア 義歯洗浄、更衣の援助、 ICF の視点から考える清潔ケア	演習	
13	高齢者の性	高齢者の性機能の変化について理解できる	高齢者の性機能の変化と看護	講義	
14	高齢者の日常生活の援助	ICF の視点をもとに高齢者の日常生活の援助について考えることができる	事例をもとに ICF の視点で高齢者の日常生活の援助を考える	講義	
15			終講試験		

分野	専門分野 - 老年看護学 -	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	老年看護実践論 Gerontological Nursing Practice	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>老年期とは、これまでの人生において様々な事柄に適応しながら価値観や習慣・信条などを築き上げ、やがては死を迎える、人生の最期の年代である。高齢者は加齢に伴う変化に適応し、疾病や症状・障害をもちながら生活しており、老年看護には高齢者が自分らしく生き残るための看護が求められている高齢者は体調の変化をきっかけに長期臥床状態に陥りやすいため、まずは疾患をもつ高齢者の特徴を学習し、家族を含めた疾患の予防・早期発見・早期治療の必要性を学ぶ。また、高齢者自身の意思決定を支援する必要性についても学習する。高齢者が入院及び外来における治療が継続できるために必要な看護を学習する。医療の進歩に伴い、高齢者においても治療の制限は縮小されている。加齢に伴う変化を踏まえて薬物療法や手術療法、検査を受ける際の看護を学習する。疾患については老年病と言われる疾患の中から特に罹患率の高い疾患や多く見られる症状に焦点をあて、それに応じた看護の実践を学習していく。入院期間の短縮化、在宅医療との連携がうたわれる現在では、在宅において高齢者を介護する家族への看護を、社会福祉制度とあわせて学習していく。また、高齢者の終焉及び看取る家族への看護の意義と必要性を学習していく。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾患をもつ高齢者の特徴を理解する。</li> <li>2. 高齢者に多い疾患や症状を理解する。</li> <li>3. 健康上に問題をもつ高齢者の看護を理解する。</li> <li>4. 終末期にある高齢者と家族への看護を理解する。</li> <li>5. 生命や死について考え、倫理観を深めようとする態度を養う。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 100点		
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 メディカ出版		
参考図書			
メッセージ	高齢者の多くは、何らかの疾患を持って生活をしています。加齢による変化や疾患・症状が高齢者の日常生活にどのように影響しているかを理解し、高齢者の生活を支える看護についての基礎を学びましょう。人生の締めくくりとなる老年期の発達課題を踏まえて、高齢者とその家族への看護を学びましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	疾患を持つ高齢者の看護/ 薬物療法を受ける高齢者の看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾患をもつ高齢者の特徴について理解する</li> <li>2. 薬物療法を受ける高齢者の看護について理解する</li> </ol>	疾患をもつ高齢者の特徴 高齢者の薬物動態、薬物療法を受ける高齢者の看護	講義	
2	手術療法を受ける高齢者の看護/ 検査を受ける高齢者の看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術療法を受ける高齢者の看護について理解する。</li> <li>2. 検査を受ける高齢者の看護について理解する</li> </ol>	高齢者の手術の特徴、高齢者に多い術後合併症 手術療法を受ける高齢者の看護 検査時の高齢者に予測される問題 高齢者の検査データの考え方 検査を受ける高齢者の看護	講義	
3	入院・退院時の高齢者の看護/ 外来診療時の高齢者の看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の入退院時の看護について理解する</li> <li>2. 外来診療を受ける高齢者の看護について理解する</li> </ol>	入院時の高齢者の看護 入院が高齢者に与える影響 高齢者の退院調整 外来診療時の高齢者に予測される問題 外来診療を受ける高齢者の看護	講義	

老年看護学

4	認知症をもつ高齢者の看護 ～認知症高齢者の全体像と認知症の診断基準及び尺度～	1. 認知症の全体像について理解する 2. 認知症の診断基準・尺度について理解する 3. うつ病及びせん妄との違いを理解する	認知症の全体像(概念と定義、発生のメカニズム、発生要因)、診断基準と評価尺度 認知症の疾患の診断、認知症をきたす代表的な疾患、認知症の治療	講義	外部講師
5	認知症をもつ高齢者の看護 ～認知症の診断と代表的な疾患、治療と看護の目標～	老年期の認知症の診断及び治療について理解する	認知症をもつ高齢者の看護の基本及び目標 一般的な症状への対応	講義	外部講師
6	認知症をもつ高齢者の看護 ～看護の基本、社会システム～	1. 認知症をもつ高齢者の看護について理解する 2. 認知症と社会システム、高齢者のための施設と看護師の役割について理解する	高齢者うつ及びせん妄の定義及び認知症との違い 認知症と社会システム、認知症をもつ高齢者の人権、高齢者のための施設と看護師の役割	講義	
7	脳血管障害を持つ高齢者の看護	脳血管障害をもつ高齢者の看護について理解する	脳血管障害と加齢変化、脳血管障害をもつ高齢者の看護	講義	
8	パーキンソン病をもつ高齢者の看護	パーキンソン病をもつ高齢者の看護について理解する	パーキンソン症のメカニズム、パーキンソン病の重症度分類、パーキンソン病の症状、パーキンソン病をもつ高齢者の看護	講義	
9	慢性閉塞性肺疾患を持つ高齢者の看護 白内障をもつ高齢者の看護	1. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)をもつ高齢者の看護について理解する 2. 白内障をもつ高齢者の看護について理解する	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態と症状、病気に応じた高齢者の看護 白内障の病態と症状及び治療、白内障をもつ高齢者及び超音波乳化吸引術を受ける高齢者の看護	講義	
10	前立腺肥大症をもつ高齢者の看護	前立腺肥大症をもつ高齢者の看護について理解する	前立腺肥大症の病態及び症状、診断と治療、前立腺癌との鑑別、経尿道的前立腺摘出術を受ける高齢者の看護	講義	
11	褥瘡をもつ高齢者と予防の看護	1. 加齢変化をふまえて、高齢者の褥瘡を予防する看護がわかる 2. 高齢者の褥瘡を予防する看護について理解する	加齢変化と褥瘡の発生メカニズム 褥瘡の評価と予防の評価 高齢者の褥瘡を予防する看護	講義	
12	長期臥床状態にある高齢者の看護	長期臥床状態にある高齢者の看護について理解する	長期臥床状態を予防する意義 長期臥床状態が高齢者に与える影響 長期臥床状態にある高齢者の看護	講義	
13	高齢者を介護する家族の看護	高齢者を介護する家族の看護について理解する	介護家族の特徴と動向 介護が家族に与える影響 介護する家族の看護	講義	
14	終末期にある高齢者の看護	終末期にある高齢者と看取る家族の看護について理解する	高齢者の終末期のプロセス 終末期にある高齢者と看取る家族の看護	講義 DVD	
15			終講試験		

分野	専門分野 - 小児看護学 -	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	小児看護実践論 Child Nursing Practice	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	小児特有の疾患を理解し、健康上の課題が子どもと家族に及ぼす影響を学ぶ。		
目標	1. 病気や入院が子どもと家族に与える影響を理解する 2. 各発達段階にある子どもの病気の捉え方を理解する 3. 小児病棟の特徴を理解する 4. 小児特有な疾患の病態・治療・検査を理解する		
評価方法	終講試験：100点 1回目 疾患が与える影響の理解：30点、2～7回目 疾患の理解：70点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院		
参考図書			
メッセージ	疾患や入院が、子どもとその家族にどのように影響するのかを学びます。これは3年次の実習で大事になる視点です。分からないことは、講師にどんどん質問してみましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	病気や入院が子どもと家族に与える影響	病気や入院が子どもと家族に与える影響と、各発達段階にある子どもの病気の捉え方を理解する	病気や入院が子どもと家族に与える影響と、各発達段階にある子どもの病気の捉え方	講義	
2	循環器疾患の子ども の病態・検査・治療	循環器疾患(心不全、先天性心疾患、川崎病)の病態生理を理解する	循環器疾患(心不全、先天性心疾患、川崎病)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
3	代謝性疾患と腎・泌尿器疾患の子ども の病態・検査・治療	代謝性疾患(糖尿病)と腎・泌尿器疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎)の病態生理を理解する	代謝性疾患(糖尿病)と腎・泌尿器疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
4	アレルギー疾患と自己免疫疾患の子ども の病態・検査・治療	アレルギー疾患(気管支喘息)、自己免疫疾患(SLE、)肺炎、細気管支炎の病態生理を理解する	アレルギー疾患(気管支喘息)、自己免疫疾患(SLE)、肺炎、細気管支炎の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
5	消化器疾患の子ども の病態・検査・治療	消化器疾患(食道閉鎖、腸閉塞、肥厚性幽門狭窄症、鎖肛、腸重積、急性胃腸炎、胆道閉鎖症)の病態生理を理解する	消化器疾患(腸閉塞、肥厚性幽門狭窄症、腸重積、急性胃腸炎、脱水、胆道閉鎖症)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
6	血液・悪性疾患の子ども の病態・検査・治療	血液・悪性疾患(白血病、紫斑病、血友病)の病態生理を理解する	血液・悪性疾患(白血病、紫斑病、血友病、)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
7	感染症、神経疾患の子ども の病態・検査・治療	感染症(麻疹、風疹、水痘、インフルエンザ、突発性正発疹)、神経疾患(熱性けいれん、てんかん)の病態生理を理解する	感染症(麻疹、風疹、水痘、インフルエンザ、突発性正発疹)、神経疾患(熱性けいれん、てんかん、髄膜炎)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
8			終講試験		

分野	専門分野 - 小児看護学 -	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	小児看護実践論 Child Nursing Practice	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	健康上の課題を持つ子どもと家族の置かれている状況を考え、成長発達している子どもと家族への看護を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な状況にある子どもと家族の特徴とその看護を理解する。</li> <li>2. 子どもの心理的準備を促すための必要性とその援助について理解する。</li> <li>3. 小児看護に必要な基礎的技術を習得する</li> <li>4. 小児看護における倫理観を養う。</li> </ol>		
評価方法	終講試験100点、課題提出や授業態度も含めて総合的に判断する。 複数担当の場合の評価配点配分は授業ガイダンスにて確認		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学【2】小児臨床看護各論 医学書院		
参考図書			
メッセージ	疾患や健康上の課題を持つ子どもと家族の看護について考える科目です。 子どもの特徴とおかれた状況を考えてチームで、子どもと家族の看護を考えていきましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	小児看護における倫理と脱水の子どもと家族の看護	小児看護における倫理と脱水の子どもと家族の看護を考える	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小児看護における倫理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利、家族の意思決定、</li> <li>・子どものアドボケートとしての役割</li> </ul> </li> <li>2)脱水の子どもと家族の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱水の子どもの特徴と看護</li> </ul> </li> </ol>	講義	
2	先天性疾患の子どもと家族の看護	先天性疾患の子どもと家族の看護を考える	先天性疾患の子どもと家族の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先天性疾患の種類、先天性疾患の子どもと家族の看護</li> <li>・ドローターの障害受容過程</li> </ul>	講義	
3	低出生体重の子どもと家族の看護	低出生体重の子どもと家族の看護を考える	低出生体重の子どもと家族の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児の特徴、低出生体重児と家族の看護</li> </ul>	講義	
4	心身障害をもつ子どもと家族の看護 在宅療養における子どもと家族の看護	心身障害をもつ子どもと家族看護、在宅療養における子どもと家族の看護を考える	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)心身障害をもつ子どもと家族の看護</li> <li>2)在宅療養における子どもと家族の看護</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レスパイトケアについて</li> </ul>	講義	
5	周手術期における子どもと家族の看護	周手術期における子どもと家族の看護を考える	周手術期における子どもと家族の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレパレーションについて</li> </ul>	講義	
6	虐待を受けた子どもの看護	虐待を受けた子どもの看護を考える	虐待を受けた子どもの看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止システム、子どもと家族のケア</li> </ul>	講義	

小児看護学

7	気管支喘息の子どもと家族の看護	気管支喘息の発作時・非発作時の看護について理解する	気管支喘息の子どもと家族の看護 ・発作程度、発作時・非発作時の看護	講義	
8	川崎病、ファロー四徴症の子どもと家族の看護	川崎病の子どもと家族の看護、ファロー四徴症 無酸素発作予防の看護について理解する	循環器疾患 ・川崎病の子どもと家族の看護 ・ファロー四徴症 無酸素発作予防の看護	講義	
9	けいれんの子と家族の看護	けいれん時の看護および緊急時の看護について理解する	けいれん時の看護 ・けいれん時の看護、緊急時の看護	講義	
10	特別支援学校の役割について	特別支援学校の教育の実際と役割について学ぶ	特別支援学校の役割について	講義	外部講師 須賀川支援学校 郡山校 分校長
11	災害時の子どもと家族の看護	災害時の子どもの看護心的外傷、子どもと家族の支援について理解する	災害時の子どもの看護 ・心的外傷、子どもと家族の支援	講義	
12	事例を用いた看護過程展開	気管支喘息患児の事例を用いて看護過程 アセスメントの視点を考える	気管支喘息患児の事例を用いて看護過程を考える 1)アセスメントの視点 対象理解をどのように考えるか 2)情報の整理と今までの学習した知識をもとにアセスメント	GW	
13	事例を用いた看護過程展開	気管支喘息患児の事例を用いて看護過程 病態関連図、統合アセスメントを考える	気管支喘息患児の事例を用いて看護過程を考える 3)病態関連図から統合アセスメントまで	GW	
14	事例を用いた看護過程展開	気管支喘息患児の事例を用いて看護過程 看護診断を立案する	気管支喘息患児の事例を用いて看護過程を考える 4)看護診断立案	GW	
15			終講試験		

分野	専門分野Ⅱ —小児看護学—	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	小児看護実践論Ⅲ Child Nursing Practice Ⅲ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	健康上の課題を持つ子どもと家族の状況を理解し、それぞれの状況に応じた子どもと家族への看護を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児特有の疾患を理解し、様々な状況にある子どもと家族の看護について発達段階から理解する。</li> <li>2. 健康上の課題を持つ子どもにとっての遊びや学習の意義について理解する。</li> <li>3. 健康上の課題を持つ子どもと家族に必要な援助を事例から考える</li> <li>4. 小児看護に携わる看護師の役割について考える。</li> </ol>		
評価方法	筆記試験の成績、授業中の課題提出物等により総合的に判断する 評価配点：筆記試験(90点) ①小児のバイタルサイン・課題(10点)		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学【2】小児臨床看護各論 医学書院		
参考図書			
メッセージ	慢性疾患の子どもと家族だけでなく、疾患により健康を障害された子どもと家族の置かれた状況を理解し、どのような看護が必要か。看護方針は？子どもの頑張りを引き出すあなたのかかわりは？この科目の合言葉は「学び合い」です。みんなで協力してがんばりましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	救急時の看護	救急時の看護 誤飲時の看護について理解する	救急時の看護 1)誤嚥時の看護	講義	
2	救急時の看護	救急時の看護 熱傷の重症度と処置・治療について理解する	救急時の看護 2)熱傷の重症度と処置・治療	講義	
3	疾患や入院の影響	疾患や入院が子どもと家族に与える影響を理解する	疾患や入院が子どもと家族に与える影響 ・インフォームド・アセント、子どもの疾患や入院の理解、危機理論	講義	
4	遊びと学習	入院している子どもにとっての遊びと学習の援助について理解する	入院している子どもにとっての遊びと学習の援助 ・入院している子どもにとっての遊びと学習の意義	講義	
5	急性期	急性期にある子どもと家族の看護を理解する	急性期にある子どもと家族の看護 ・子どもと家族の反応、プレバレーション	講義	
6	慢性期	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する	慢性期にある子どもと家族の看護 ・小児慢性特定疾患治療研究事業、外来環境と入院環境	講義	
7	牽引 ギブス	活動制限を受ける子どもと家族の看護を理解する	活動制限を受ける子どもと家族の看護	講義	
8	感染隔離	化学療法をしている子どもと家族の看護 隔離時の看護、発熱時の看護、出血時の看護を理解する	化学療法をしている子どもと家族の看護 2)隔離時の看護、発熱時の看護、出血時の看護	講義	

小児看護学

9	白血病	がんの子どもと家族の看護 白血病について、化学療法中の看護を理解する	化学療法をしている子どもと家族の看護 1)白血病について、化学療法中の看護	講義	
10	終末期の看護	子どもの死の捉え方と理解、終末期にある子どもと家族の看護を理解する	終末期の看護 1)子どもの死の捉え方と理解、終末期にある子どもと家族の看護	講義	
11	終末期の看護 痛みの看護	終末期の看護 について理解する	終末期の看護 2)痛みに対する看護	講義	
12	検査・処置時の看護	検査・技術、処置時の子どもと家族の看護を理解する	検査・技術、処置時の子どもと家族の看護 ・腰椎穿刺・骨髄穿刺、輸液の管理、与薬、採尿、坐薬	講義	
13	バイタルサイン・身体測定時の看護	新生児の身体測定およびバイタルサインを理解する	バイタルサイン測定 1)身体測定（新生児） 2)バイタルサイン	講義	
14	事例を通じた急性期の看護	急性期の子どもについて演習を通して学ぶ	急性期の子どもと家族への看護 1)急性期症状の子どもの看護をシミュレーション学習で学ぶ	演習	
15			終講試験		



分野	専門分野 - 母性看護学 -	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	母性看護実践論 Maternity Nursing Practice	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	母性の各ライフサイクルの特徴を理解し、健康生活を支援するための看護の意義及び看護のあり方を考える。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウィメンズヘルスの意義と目的を理解する。</li> <li>2. 母性のライフサイクル各期の心身社会的特徴をふまえ、健康上の課題と疾病の予防を理解する。</li> <li>3. 女性生殖器疾患の特徴と看護を理解し、ウィメンズヘルスクアを考える。</li> <li>4. 母性看護における倫理的問題に関心をもち、課題を考える。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 100点 出席状況や授業態度も含めて総合的に判断する。		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学【1】 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 母性看護学【2】 母性看護学各論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 女性生殖器 成人看護学【9】医学書院 看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社		
参考図書			
メッセージ	<p>母性看護学では健康に育っていく母子の過程を支援していくことが大切です。必要なのは、医学ではなく看護学です。母性看護では広く社会を見られるように学習していきましょう。</p> <p>形態機能学や病態生理学(女性生殖器)で学んだことを振り返って、看護の学びを深めましょう。母性のライフサイクル、内分泌の変化についての学びを深めましょう。女性は自分の体の仕組みを良く理解すると共に社会の状況にも関心をもちたいです。男女ともに自己の性を見つめるとともに、女性の一生を支援していく知識を身につけていきましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	母性看護の特徴	母性看護の特徴を理解し、ウィメンズヘルスクアの基本について理解する	母性看護の特徴 1) ウィメンズヘルスクア 2) ヘルスプロモーション、保健指導 母性看護技術の特徴 1) 母性看護で行われる検査・処置(内診など)	講義	
2	ウィメンズヘルス(思春期)	思春期の特性を理解する	思春期の特性 1) 思春期の特徴(第2次性徴について) 月経の仕組み 1) メカニズムと正常な月経	講義	
3	ウィメンズヘルス(思春期)	思春期にある対象の健康課題と看護について考える。	思春期の健康課題 1) 月経困難症と月経前症候群 2) 性感染症の現状とその看護	講義	
4	ウィメンズヘルス(成熟期)	成熟期の特性について理解する	成熟期の特性 1) 妊娠の成立と出産 2) 妊娠の診断	講義	
5	ウィメンズヘルス(成熟期)	胎児の発生と催奇形因子について理解する	胎児の発生 1) 胎芽期と胎児期 2) 胎児附属物の構造と機能 3) 代表的な催奇形因子 (薬物・環境・血糖・風疹ウイルスなど)	講義	

6	ウィメンズヘルス(成熟期)	成熟期の健康課題と母子感染症について理解する	女性の健康に影響する因子 1)嗜好品 母子感染症 1)母子感染様式と経路 2)代表的な母子感染症(TORCH感染症)	講義	
7	ウィメンズヘルス(成熟期)	代表的な妊娠異常とその看護について理解する	妊娠異常について 1)着床部位の異常(異所性妊娠) 2)胎児附属物の異常(胎状奇胎) 3)妊娠持続期間の異常(流産) 4)多胎妊娠	講義	
8	ウィメンズヘルス(更年期・老年期)	更年期・老年期の特性と健康課題について理解する	更年期の特徴と健康課題 1)閉経 2)更年期障害 老年期の特徴 1)老年期の女性性の看護	講義	
9	保健指導の実際	母性看護における保健指導の実際を体験し学ぶ。	母性看護で行われている保健指導 1)性教育・命の授業 2)周産期における保健指導 3)家族計画の理念と受胎調節	講義 GW	
10	保健指導の実際(発表)			GW	
11	女性の健康を守る看護	人工妊娠中絶と性暴力被害にあった女性への看護について理解する。	1)人工妊娠中絶の実際と看護 2)性暴力・DVの実際と看護	講義	
12	生殖医療と倫理	不妊治療と生殖医療の現状と看護について理解する	不妊治療と生殖医療の現状と看護 1)不妊の原因・検査 2)不妊治療の倫理的問題 3)生殖補助医療 4)出生前診断と倫理的問題	講義	
13	女性生殖器疾患と看護	子宮疾患の特徴と手術療法について理解する	子宮の疾患の特徴と看護 1)子宮筋腫 2)子宮頸癌と子宮体癌 婦人科手術について 1)婦人科手術に伴う障害と看護	講義	
14	女性生殖器疾患とその看護	卵巣疾患の特徴とホルモン療法について理解する	卵巣の疾患の特徴と看護 1)卵巣の良性・悪性腫瘍 婦人科疾患の治療に伴う障害と看護 1)ホルモン療法における看護 2)化学療法における看護 3)放射線療法における看護	講義	
15			終講試験		

分野	専門分野Ⅱ —母性看護学—	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	母性看護実践論Ⅱ Maternity Nursing PracticeⅡ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	妊娠・分娩期にある人々とその家族への看護について基礎的知識と看護技術を学び、演習で必要な看護技術を習得する。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠による身体的・心理的変化から妊娠中における対象のニーズを学び、看護の必要性を理解する。</li> <li>2. 妊婦の健康の保持増進と胎児の発育に必要な健康診査の重要性を理解し、その方法を理解する。</li> <li>3. 妊婦及びその家族の健康維持のセルフケアができるための保健指導の重要性を理解する。</li> <li>4. 妊娠・分娩中の異常は生命を脅かすことを認識し、起こりやすい異常とその看護を理解する。</li> <li>5. 分娩の生理及び分娩に伴う心身の変化と分娩時の看護を理解する。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 95 点 課題 5 点 出席状況や授業態度も含めて総合的に判断する。		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学【1】 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学【2】 母性看護学各論 医学書院 看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メチカルフレンド社		
参考図書	ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程第2版 医歯薬出版		
メッセージ	妊娠・分娩は女性にとって貴重な体験です。皆さんの持っている母性観や父性観が育まれることを期待します。実習においても重要な知識となりますので、母性の他の講義と関連させて学習しましょう。また、デモンストレーションにより妊娠・分娩における看護に興味をもって欲しいと思います。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	妊娠による全身の変化	妊娠による全身の身体的変化を理解する	妊娠期の看護 1) 妊娠による全身の変化 (1) 母体の生理的变化 (2) 生理的变化に伴うマイナートラブル	講義	
2	妊娠期の健康管理	妊娠期の母体・胎児の健康状態を把握するための方法を理解する	妊娠期の看護 2) 妊娠期の健康管理 (1) 妊婦健康診査の目的と方法 (2) 胎児の健康状態の評価	講義	
3	妊娠初期・中期の特徴	妊娠初期・中期の身体・心理・社会的特徴とその看護について理解する	妊娠期の看護 3) 妊娠初期・中期の身体・心理・社会的特徴 4) 妊娠初期・中期の看護	講義	
4	妊娠末期の特徴	妊娠末期の特徴とその看護について理解する	妊娠期の看護 5) 妊娠末期の身体・心理・社会的特徴 6) 妊娠末期の看護 (1) ノンストレステストの方法	講義	
5	妊娠期の看護の実際	妊婦・胎児の健康管理を支援する方法について理解する	妊娠期の看護 7) 妊娠期の健康管理の方法 (1) 妊婦体験 (2) レオポルド触診法 (3) 子宮底・腹囲の測定	演習	実習室

6	妊娠期の保健相談	妊婦の保健相談について理解する	妊娠期の看護 8) 妊婦の保健相談 (1) 保健相談の目的・方法 (2) 分娩準備教育	講義	
7	周産期の異常と看護（妊娠期）	妊娠期の異常と看護を理解する	周産期の異常と看護（妊娠期） 1) 産科疾患と母体合併妊娠 (1) 切迫早産 (2) 妊娠高血圧症候群 (3) 妊娠糖尿病 (4) 前置胎盤と常位胎盤早期剥離 (5) 胎児発育不全	講義	
8	分娩期の経過	分娩期の3要素について理解する	分娩の3要素 1) 娩出力 2) 産道 3) 娩出物	講義	
9	分娩期の身体的特徴	分娩期の生理について理解する	分娩第1期～分娩第4期の生理と進行 1) 分娩開始から胎盤剥離までの機序 2) 分娩の進行と産婦の身体的変化	講義	
10	分娩期の産婦の心理	分娩期の産婦の心理について理解する	分娩第1期～分娩第4期の心理・社会的変化 分娩期の産婦と家族への支援	講義	
11	分娩期における看護	分娩期の看護について理解する	分娩第1期～分娩第4期の看護 1) 基本的二ードの充足 2) 産痛緩和	講義	
12	周産期の異常と看護（分娩期）	分娩期の異常と看護について理解する	周産期の異常と看護（分娩期） 1) 分娩経過の異常と出血 2) 急速遂娩と帝王切開	講義	
13	妊娠期の看護過程の展開	妊娠期の母性看護過程の展開を理解する	母性看護過程の展開（妊娠期） (1) ウェルネス志向によるアセスメント	演習	課題
14	分娩期の看護過程の展開	分娩期の母性看護過程の展開を理解する	母性看護過程の展開（分娩期）	演習	課題
15			終講試験		

分野	専門分野Ⅱ —母性看護学—	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	母性看護実践論Ⅲ Maternity Nursing PracticeⅢ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	産褥期にある人々とその家族への看護について基礎的知識と技術を学び、必要な看護技術を習得する。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 産褥期の生理的变化と正常からの逸脱を理解し、必要な看護について理解する。</li> <li>2. 母性を心理社会的側面からとらえ、産褥期の心理的变化を理解する。</li> <li>3. 母子一体性を理解し、一個の人格をもつ人間として新生児看護の必要性を理解する。</li> <li>4. 新生児の生理的变化と正常からの逸脱を理解し、必要な看護について理解する。</li> </ol>		
評価方法	終講試験95点 課題5点 出席状況や授業態度も含めて総合的に判断する。		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学【1】 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学【2】 母性看護学各論 医学書院 看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メチカルフレンド社		
参考図書	ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程第2版 医歯薬出版 UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんに優しい母乳育児支援ガイド ベーシックコース 医学書院		
メッセージ	妊娠・分娩・産褥は一連の経過として関連させて既習の知識を活用して学習しましょう。産褥期は母と子の相互作用がとても重要になります。褥婦と新生児双方の特徴を学んでいきます。 新生児については胎内生活から胎外生活への変化を捉えることが、大切なポイントです。あまりに劇的な変化で学ぶことが沢山ありますが、小児看護や母性看護学実習にも繋がる部分ですので、頑張りましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	産褥期の身体的変化（退行性変化）	産褥期の特徴と身体的変化を理解する	産褥期の定義 進行性変化と退行性変化 (1) 全身状態の変化 (2) 生殖器の変化	講義	
2	産褥期の身体的変化（進行性変化）	産褥期の乳房の変化と乳汁分泌のメカニズム、乳汁の特徴を理解する	産褥期の乳房の変化 (1) 乳汁分泌のメカニズムと乳汁の特徴 (2) 乳房の観察とケア	講義	
3	産褥期の心理的特徴と看護	母性意識の発展過程と産褥期の心理変化を理解する	母性意識の発展過程と産褥期の心理変化 (1) 母親役割獲得のプロセス (2) マタニティブルーズ	講義	
4	褥婦のセルフケアへの看護	褥婦の身体機能回復及びセルフケアへの看護を理解する	身体機能回復に向けた看護 セルフケアを高める看護	講義	
5	産褥期の異常と看護	産褥期の異常と看護を理解する	産褥期の異常と看護	講義	
6	新生児の身体的特徴と看護①	新生児の定義と出生直後の新生児の生理的特徴を理解する	新生児の定義 新生児の出生直後の生理的特徴の理解 (1) 子宮外適応現象	講義	

母性看護学

7	新生児の身体的特徴と看護②	新生児の身体的特徴について理解する	出生直後の看護 新生児の身体所見と観察方法 (1) バイタルサイン測定 (2) 身体所見と観察方法	講義	
8	新生児の身体的特徴と看護③	新生児の生理的経過（順調に成長・発育しているサイン）について理解する	新生児の栄養 (1) 新生児の消化・排泄 (2) 新生児の体重の変化 新生児に行われる検査と退院支援	講義	
9	新生児期の異常と看護	新生児期の異常とその看護について理解する	新生児期の異常 異常の早期発見のために行なわれている検査	講義	
10	育児支援と保健相談	育児支援と保健相談について理解する	育児支援と保健相談 退院後の母子の生活とその支援	講義	
11	母乳育児支援	母乳育児支援について理解する	母乳育児支援の実際 (1) ポジショニング・ラッチオン (2) コミュニケーション・スキル	講義 演習	
12	新生児沐浴演習	新生児の沐浴を実践し、理解する	新生児の抱き方 沐浴の方法	演習	
13	産褥期の看護過程	母性看護過程の展開を行い、ウェルネス看護を理解する	母性看護過程の展開 1) ウェルネス看護 2) 周産期の母子のアセスメント	演習	課題
14	産褥期の看護過程（クリニカルパス）	クリニカルパスを用いた母性看護過程について理解する。	母性看護過程の展開 1) クリニカルパスの展開	演習	課題
15			終講試験		

分野	専門分野 - 精神看護学 -	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	精神看護実践論 Psychiatric and Mental Health Nursing Practice	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	広く対象をとらえ日常生活におけるこころの健康への援助について学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活の場でのこころの健康状態について理解する。</li> <li>2. 精神保健活動とリハビリテーションについて理解する。</li> <li>3. 患者 看護師関係について理解できる。</li> <li>4. 自己コントロールを高める援助技術について理解できる。</li> <li>5. コミュニケーション能力を高める援助技術について理解できる。</li> <li>6. 災害とこころの健康への援助について理解する。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 100 点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門 精神看護学【1】 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門 精神看護学【2】 精神看護の展開 医学書院 系統看護学講座 別冊 精神保健福祉 医学書院		
参考図書	学生のための精神看護学 医学書院 やさしく学ぶ看護理論 医学書院		
メッセージ	演習には積極的に取りくみ実感を大事にしてください。 質問や相談がある場合は遠慮せずに声をかけてください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	関係の中の人間	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の対象としての家族と集団について理解する</li> <li>2. 人の成長と回復にとっての集団の役割と意味を理解する</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族と精神の健康</li> <li>・ 家族の中の役割関係</li> <li>・ システムとしての家族</li> <li>・ 全体としてのグループ</li> <li>・ グループの方法</li> </ul>	講義	
2	精神を病むことと生きること	精神の障害とはなにか、その定義やとらえ方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神障害のとらえ方</li> <li>・ 症状とは何か</li> <li>・ ストレスと精神障害</li> </ul>	講義	
3	生活の場でのこころの健康	生活の場でのこころの健康状態と危機を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活のしづらさとは何か</li> <li>・ 生活の場でのこころの健康状態と危機</li> </ul>	講義	
4	精神保健における予防（一次予防）	精神障害の予防について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神保健福祉に関する啓発と教育</li> <li>・ 精神保健福祉に関する支援システム</li> </ul>	講義	
5	精神保健における予防（二次予防）	早期の対応と地域生活をつなぐための介入について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 危機的状況に対する早期介入</li> <li>・ 危機に応じて活用できるおもな社会資源</li> </ul>	講義	
6	精神保健における予防（三次予防）	再発防止のための介入について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリテーションとリカバリー</li> <li>・ リカバリーを支えるためのストレングスモデル</li> <li>・ リカバリーを支えるための援助</li> </ul>	講義	
7	災害とこころの健康	災害とこころの健康への援助について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の心理的プロセス</li> <li>・ 地域における災害時の心のケア</li> <li>・ 支援者に対するメンタルヘルス対策</li> <li>・ 現場での重要な視点</li> </ul>	講義	

精神看護学

8	リハビリを支えるために	リハビリを支えるための方法について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習理論(行動科学の考え方、古典的条件付け、オペラント学習、動機づけ、自己効力感)</li> <li>・認知療法</li> <li>・行動療法(系統的脱感作、エキスポージャー法、オペラント技法、モデリング)</li> </ul>	講義	
9	自己コントロールを高めるケア	自己コントロールを高めるケアについて理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リラクゼーション法(筋弛緩法、呼吸法)</li> <li>・芸術療法 ・ 絵画療法 ・ 音楽療法・箱庭療法</li> </ul>	講義	
10		自己コントロールを高めるケアについて理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナラティブアプローチ</li> <li>・カウンセリング</li> <li>・アサ ション</li> </ul>	講義	
11	コミュニケーション能力を高めるケア	コミュニケーション能力を高めるケアについて理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーション</li> <li>・SST とは</li> <li>・SST の実際</li> </ul>	講義 演習	
12	患者 看護師関係の成立と発展	患者 看護師関係の成立と発展過程を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペプロウの患者 - 看護師関係の成立と発展過程</li> <li>・4つの段階と6つの看護師の役割</li> </ul>	講義	
13	リエゾン精神看護	リエゾン精神看護について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リエゾン看護とは</li> <li>・リエゾン精神看護の役割</li> <li>・身体疾患を持つ人の精神の健康</li> <li>・支持的面接とは</li> </ul>	講義	
14	看護における感情労働とメンタルヘルス	看護における感情労働とメンタルヘルスについて理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師の精神の健康</li> <li>・看護師の不安と防衛 ・ 看護師の感情ワーク</li> <li>・看護における共感 ・ 感情労働の代償</li> <li>・感情労働を生き延びるために</li> </ul>	講義	
15			終講試験		



分野	専門分野 - 精神看護学 -	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	精神看護実践論 Psychiatric and Mental Health Nursing Practice	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	精神疾患についての概要と基礎的な知識を学ぶ。		
目標	1. 精神看護に必要な精神症状と検査について理解する。 2. 主な精神疾患の特徴と治療、看護について理解する。		
評価方法	終講試験 100点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門 精神看護学【1】 精神看護の基礎 系統看護学講座 専門 精神看護学【2】 精神看護の展開		
参考図書	学生のための精神看護学 医学書院		
メッセージ	あらかじめテキスト読み、授業に積極的に取りくみましょう。 質問や相談がある場合は遠慮せずに声をかけてください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	精神症状論と状態像	1. 「病いの経験」と医学モデルによる「疾患」という2つの側面から精神障害を理解する 2. 精神機能の障害である、さまざまな精神症状を理解する	精神障害の症状 不安状態 思考内容と思路の障害 記憶障害 強迫思考・強迫行為 意識の変容 離脱症状 昏迷状態 精神運動興奮状態 知的機能の障害	講義	
2	精神障害の診断と分類	1. 精神障害の診断と分類について理解する 2. 心理的特性をはかる検査、医学的検査について理解する。 3. 知的障害・精神遅滞の概念と分類を理解する	精神障害の診断と分類 DSMとICDの分類 外因・内因・心因という分類 生物・心理社会モデル 医学的検査、心理検査 知的障害・精神遅滞	講義	
3	統合失調症の特徴と治療	1. 統合失調症の特徴と治療について理解する。 2. 抗精神病薬の有害反応を知りその予防・対処法を学ぶ。	統合失調症 ・症状 ・成因 ・治療 ・発病と回復のプロセス ・抗精神病薬の有害反応	講義	
4	気分障害の特徴と治療	1. 気分障害の特徴と治療について理解する 2. 電気けいれん療法について理解する	気分障害 ・症状 ・経過と予後 ・成因 ・治療 ・電気けいれん療法	講義	

5	神経症性障害、 ストレス関連障 害および身体表 現性障害、生理 的障害および身 体的要因に関連 した行動症候群	神経症性障害、ストレス関連障害 および身体表現性障害、生理的障 害および身体的要因に関連した 行動症候群の特徴と治療につ いて理解する	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現 性障害 恐怖症性不安障害 強迫性障害 重度ストレス反応および適応障害 解離性障害 生理的障害および身体的要因に関連した行動症 候群 摂食障害 睡眠障害 パーソナリティ障害	講義	
6	器質性精神障 害、てんかん、 精神作用物質に よる精神および 行動の障害	器質性精神障害、てんかん、精神 作用物質による精神および行動 の障害の特徴と治療について理 解する	器質性精神障害 認知症 症状精神病 てんかん 精神作用物質による精神および行動の障害	講義	
7	心理的発達の障 害、小児期およ び青年期に通常 発症する行動お よび情緒の障害	心理的発達の障害、小児期および 青年期に通常発症する行動およ び情緒の障害の特徴と治療につ いて理解する	心理的発達の障害 特異的発達障害 広汎性発達障害 小児期および青年期に通常発症する行動および 情緒の障害 多動性障害 素行障害	講義	
8			終講試験		

分野	専門分野 - 精神看護学 -	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	精神看護実践論 Psychiatric and Mental Health Nursing Practice	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	精神に障害のある人と家族について理解し、地域社会においての生活を目指した看護の知識と技術を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神科における対象の特徴を理解する。</li> <li>2. 精神における治療的環境について理解する。</li> <li>3. 精神症状、疾患を持つ対象への看護を理解する。</li> <li>4. 精神科医療におけるリスクマネジメントについて理解する。</li> <li>5. 地域生活を支える援助について理解する。</li> <li>6. 精神看護について考え、倫理観を深めようとする態度を養う。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 90点 演習 10点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門 精神看護学【1】精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門 精神看護学【2】精神看護の展開 医学書院 系統看護学講座 別冊 精神保健福祉 医学書院 オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開第2版 ニューベルヒロカワ		
参考図書	これだけは知っておきたい精神科の身体ケア技術 医学書院		
メッセージ	概論、実践論 の学習内容を活用して取り組みましょう。 質問や相談がある場合は遠慮せずに声をかけてください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	ケアの原則・ケアの方法	感情を手がかりにして自分を知り相手を理解することがケアの人間関係のもとになることを理解する	ケアの原則 人としての尊厳を尊重する 互いの境界をまもる 応答性を保つ・現実検討をする ケアの方法 そばにいること・自分自身であること	講義	
2	患者の回復につながる治療的環境	治療的環境とはどういうものかを理解し、患者の回復を促す治療的環境をつくり出すために看護師に求められることはなにかを理解する	治療と環境 治療的環境の要件 治療的環境と看護師	講義	
3	精神症状の把握と対象の観察	精神症状の把握、対象の観察とアセスメントを理解する	精神症状の把握 対象の観察とアセスメント	講義	
4	患者 - 看護師関係で起こること	共感、拒絶、攻撃、転移、操作、多訴など精神科病棟で日常的にみられる患者 - 看護師関係のできごとと対処を理解する	共感、拒絶、攻撃の対象 転移・逆転 操作される、訴えにふりまわされる チームのダイナミクス	講義	
5	各症状の看護	精神疾患の各症状の看護を理解する	幻覚・妄想状態の看護 うつ状態の看護 躁状態の看護	講義	
6	各疾患患者の看護	代表的な精神疾患の各病期における看護を理解する	統合失調患者の看護 気分障害患者の看護	講義	

7	安全をまもる	精神科医療における安全の基本的な考え方を知り、患者の安全をまもるためのリスクマネジメントについて理解する	安全の条件 リスクマネジメントと行動制限 行動制限を行う場合のケアプラン	講義	
8	緊急事態に対処する	自殺、暴力、無断離院の3つの事態を中心として、緊急事態にどう対処すべきかを、予防に重点をおいて理解する	自殺 暴力 無断離院 緊急事態とスタッフのサポート	講義	
9	精神の治療と身体ケア	1.身体ケアが心のケアにもなることを理解する 2.抗精神病薬の有害反応を知り、その予防・対処法、電気痙攣療法時の看護を理解する。	精神科における身体ケア 薬物療法における看護 電気痙攣療法の看護	講義	
10	治癒と回復	精神疾患、精神障害の回復とはどのようなものかを知り、回復の過程、回復を支えるさまざまな方法、回復のために必要なことを理解する	治癒と回復 精神科におけるリハビリテーション 回復を支えるさまざまな方法 地域における精神看護 家族への援助と家族心理教育	講義	
11	地域生活を支える援助	1.精神障害者が安定した地域生活を継続するために援助者が心得ておくべき原則を学ぶ 2.生活を支える社会制度とその基盤となる考え方を理解する	精神障害者が街で暮らすために 地域で生活するための原則 生活を支える精神保健福祉の制度	講義	
12	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデル	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを理解する	オレムのセルフケア理論 オレム-アンダーウッドのセルフケアモデル	講義 GW	
13	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開	事例を使用しオレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開を理解する	セルフケアの視点でアセスメント 生活のしにくさと自我機能、発達段階の考え方 セルフケアレベルの判断	講義 GW	
14	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開	事例を使用しオレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開を理解する	対象にとっての必要な看護と優先度の考え方 看護の方向性の明確化 現在のセルフケアの状態とその誘因	講義 GW	
15			終講試験		